

2021年9月12日

## —2021年度千葉県代協第2回CSR委員会議事録—

開催日時：9月9日(木)13:00～ Webex 利用

出席者：大塚俊典（市原） 東條史（京葉） 田原豊（千葉） 池辺晃司（東葛） 倉富宗久（北総）  
青木繁（木更津） 藤代真土（銚子） 間立徹（安房） 伊藤綱人（茂原）

オブザーバー：小口泰伸(会長) 敬称略

議題内容： CSR活動上半期振り返りと下半期に向けて

開会を宣した後、会長より引き続きCSR推進いただきたい旨。加えて会員個々の感染予防とお客様に対する対策徹底の要請があった。

### 1. 報告事項

はじめに委員長が各テーマについて上半期の概況を報告しその後、各支部委員から上半期の取り組み状況と下半期の活動予定を発言いただいた。

### 2. 協議事項

#### (1)献血活動推進について

委員長より、案内文書と特設献血会場、常設献血ルーム情報を全会員宛にメールで毎月周知していることを確認した。委員長が8月に地元市役所で行った献血について夏場は脱水になるため厳しかったがこれから冷涼な季節になるので各委員の積極的な協力と支部役員会員の取り組み状況把握を要請した。安房支部間立委員より来年3月13日にイオンタウン館山で支部主催の献血イベントを企画していることならびに作成したオリジナル横断幕を紹介いただいた。会長より日本赤十字社は感染対策のプロであり特に献血ルームは安全なため安心して献血いただきたいと要請があった。

#### (2)ぼうさい探検隊マップコンクール募集状況と締切日11月4日に向けて

続いて委員長よりぼうさい探検隊の募集状況について報告した。千葉県では現在茂原市立中の島小学校一校から応募いただいている。我々の営業がパンフレットをお渡しするのみではご契約いただくことが困難であることと同様に、ぼうさい探検隊団体募集においてもフォローの重要性を訴えた。委員長担当の横芝光町の光小学校にフォローの訪問したところ担当の先生が同パンフレットを見ていないことが判明し改めて手交したことを報告した。続いて全国の他代協では鹿児島県の7団体を筆頭に東京6団体、神奈川、大阪各5団体など千葉よりコロナ感染状況が悪い地域からも多数応募されていることから千葉も募集に取り組むよう要請し締切日の11月4日を再度徹底した。

続いて各委員から各支部取り組み状況について下記の通り報告いただいた。

市原支部大塚委員：郵送によって市原市内の小学校に案内済みであるがフォローはこれからである。

木更津支部青木委員：同市岩根小学校に 400 部案内し今後フォローする。

京葉支部東條委員：支部長の繋がりですフォロー実施したい。

千葉支部田原委員：7月30日に千葉市子供会育成協議会会長経由で100部案内(ダイレクト印字による)し今後フォロー実施予定である。同方式を千葉支部に根付かせたい。

東葛支部池辺委員：柏支社の損害課社員、パートさんに案内した他、自身が務める柏第8小学校50周年実行委員長の人脈からアプローチしている。

北総支部倉富委員：関与しているミニバスケットチームへの案内の他、支部長経験者の小倉さんに相談する。

安房支部間立委員：案内済みの4つの教育委員会にフォロー実施したい。

銚子支部藤代委員：手交済みの自店近隣小学校にフォロー実施したい。

### (3)無保険バイク追放キャンペーンの意義と実施について

委員長より資料のデータから同キャンペーン実施の意義を伝えた。①原付保有台数に対する自賠責加入台数を見ると約2割が無保険になっていること②無保険での人身事故による賠償リスクおよび交通違反点数6点は累積点数0であっても一発免停30日であること③原付60か月の保険料13,980円は大きいとは言えないが手離れが良い点と塵も積もれば山となる点など代理店経営に資すること④コロナ感染下新たに原付で通勤する人が増加していること電動キックボードの流行と電動キックボードに自賠責付保が必須ということ 以上から推進を要請した。

また推進方法として今年度のノベルティのチラシを紹介するとともにノベルティ活用の3つの事例を紹介した。①銚子支部方式：無人駅の駐輪場の無保険バイクへの配布②東葛支部：交通安全協会に配布を依頼する③茂原支部：二輪店にノベルティを配布してもらう

各支部でいずれかの方法またはその他方法のうちいずれによって実施するかについてLINEグループで表明いただくよう委員長から依頼した。

### (4)自動車盗難防止キャンペーン

委員長より損害保険協会主催の海浜幕張駅での街頭活動は中止となるが資料のデータから同キャンペーン実施の意義を伝えた。①2019年2020年ともに全国ワースト3の多発県であること②県内警察署ごとの2021年7月末の発生状況は県全体では微減しているものの前年同期に比較し発生無しの警察署がゼロになるなど悪化傾向である 以上から支部役員会での周知を要請した。

### (5)地震保険普及キャンペーン

委員長より資料のデータから同キャンペーン実施の意義を伝えた。①千葉県全体の地震保険付帯率は全国で下から9番目の39位で63.9%②地震保険金支払額で2

番目に多いのが熊本地震，3番目が大阪北部地震である。熊本県の付帯率が全国3位の84.5%，また大阪府の付帯率は全国26位の68.5%といずれも千葉県を上回っている③阪神淡路と東日本の二つの大震災を経てより保険金を受け取りやすい仕組みに改善されている。以上を共有するとともに各支部所在地の支社の地震保険付帯率と自店の付帯率をまずは把握することその上でノベルティをお客様にお渡しする地震保険普及を要請した。

### 3. その他

委員長より，50代の方の接種は進んできていること高校受験大学受験期の生徒への接種予約と接種も始まっていることなどから進展を感じる。これに対して30歳40歳代の方々の接種状況の情報が少ないように感じると発言。それを受けて大塚委員から12歳以上の方々の大規模接種会場での接種案内が周辺自治体で始まっているとの発言があった。藤代委員から40代の接種は銚子周辺ではこれからであると発言があった。

次回開催日 2021年12月9日(木)15時から予定